

中国留学体験記

留学の目的

私は将来外国の方と関わるような職に就きたいと考えており、英語に加えて中国語も学習したいと思ったため、中国へ1年間留学するプログラムに参加しました。

留学先での生活について

私は、北京の外交学院という学校に留学することとしました。

この学校は、留学生の受け入れに積極的で、0からの中国語学習にも対応しています。リスニング、リーディング、コミュニケーションの3クラスから、1日2コマを履修、タームごとにテストがありました。授業は英語でしたが、このクラスを受講している生徒は私一人だけだったため、質問もしやすく、快適な学習環境でした。私は2022年9月から2023年4月中旬までは、コロナウイルスによって渡航ができなかったため、日本国内でオンラインで受講していました。

渡航後は学校の寮で生活していました。学校が市街地にあったため、生活がしやすく、観光地や有名な場所にも簡単にいくことができました。定期的に課外学習もあり、万里の長城、北京オペラ、茶会など個人ではなかなか体験できない機会も与えられています。私は中国政府奨学金を受給していたため、授業料、寮費はかからず、生活費の受給もありました。

渡航後は、毎日中国語で日記を書き、教授に添削してもらっていました。文法の見直しや新しい単語を覚えるきっかけになるので、とてもよい習慣だったと思います。

寮には様々な国出身の留学生がおり、基本的に英語か中国語でコミュニケーションを取るため、英語の勉強にもなりますし、他国の文化に触れる事もできました。

寮の一室に集まりバースデーパーティーをしたり、留学生同士で有名な寺院に行ったり、教授にご飯を連れて行ってもらったり、体育館でバドミントンをしたり、関わる人みんなが優しく、楽しませてくれたことが印象に残っています。

中国は出前やインターネット通販の文化が日本よりも盛んで、私もよく利用していました。日頃の授業のおかげで、中国のネットサービスも翻訳なしで簡単に使うことができました。現地の友達に、日本人は本当に内向的だとたくさん言われましたが、彼らと比べると常に受け身過ぎると痛感しました。そのことから、一人で遠い場所まで出かけたり、店員さんやタクシートの運転手さんと会話をしたり、自分から知り、学ぶために行動できるようになりました。行動によって起こるリスクやデメリットに目を向けるのではなく、何事もチャレンジしなければ生まれない楽しさや達成感があると実感しました。

渡航して2ヶ月が経つ頃には、基本的な日常会話は中国語でできるようになり、メールや文書も中国語で打ち込むことに慣れました。

中国の人々は日本人にとっても友好的で、語学留学をするのに適した環境であったと思います。文明も日本より発達している印象がありましたし、治安もよく、とても生活しやすかったです。また、語学能力が向上しただけでなく、以前よりも前向きに、新しいことにチャレンジできるようになりました。

たくさんの人のサポートを受けながらも、厳しい環境の中で中国留学を果たしたことは大きな自信になりました。









庆祝中国共产党成立一百周年
暨第二届人民代表大会胜利召开